

所属	看護学部／臨床看護学系	職名	講師	氏名	榎 直美
----	-------------	----	----	----	------

1. 教員紹介・主な研究分野

研究分野は「高齢者とその家族の心身の健康支援」をテーマとし、特に近年は家族介護者の健康支援において、多職種が協働した効果的な介入方法について探求中です。確かに介護保険制度が施行され家族の身体的介護負担は軽減された側面もありますが、孤立した家族介護者の寂しさや閉塞感は以前と変わっていないように感じます。本当に必要な普遍的支援を見出すためには、自ら介護家族者と触れ合いその苦悩を感じ取る感性が必要だと考えます。そのために介護アドバイザーや介護関係の研修会講師など地域での実践活動を積極的に行い、その活動を通して、介護保険制度にはないインフォーマルな関係性を構築していきたいと思えます。そして目指すは、エビデンスに基づいた家族介護者のエンパワメント向上への支援です。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

(論文)

- ・ 榎直美・丸山康子・尾形由起子「認知症高齢者の転倒リスクアセスメントに関する検討—グループホームでの認知症高齢者のBPSDとそのかかわりに着目して—」第41回日本看護学会論文集、2011年.
- ・ 榎直美・吉田恭子・江上史子・福田和美・安酸史子「地域住民の主体的健康活動の質を高める支援に関する検討—参加・共同型看護ゼミでの体験を通して得られた効果の検証—」福岡県立大学看護学紀要、8(2)、2011年.
- ・ 丸山康子・榎直美「デイケアにおける看護者の役割と専門性に関する研究—家族介護者のニーズ調査に基づく分析より—」第41回日本看護学会論文集、2011年.
- ・ 榎直美・安酸史子・小野美穂・清水夏子「地域住民参加・共同型看護ゼミによる保健行動変容への動機付けに関する検討」第40回日本看護学会論文集、2010年.
- ・ 榎直美「デイケア利用者の家族介護者における介護不安に関連する要因」、福岡県立大学看護学紀要、7(1)、2009年.
- ・ 福田和美、渡邊智子、瓜生忍、赤木京子、榎直美「介護老人保健施設における救急ケアの実態」平成19年度看護研究助成事業. 財団法人木村看護教育振興財団. 看護研究集録, 16, 2009年.
- ・ 榎直美・尾中愛子「生活習慣の確立を促す健康教育の在り方を考える。」、日本健康教育学会、Vol.16、2008年.

(調査研究報告書)

- ・ 榎直美、安酸史子、小野美穂、清水夏子「主体的健康づくりを促すための看護介入方法に関する研究—筑豊市民大学看護ゼミ生における健康的活動意向の充足へのアプローチ—」、福岡県立大学附属研究所2007年度事業報告書、2009年.
- ・ 福田和美、安酸史子、山幡信子、渡邊智子、榎直美、赤木京子「住民参加型看護ゼミ『ヘルシーエイジング』参加における地域住民の健康意識の変容とプログラムの検討」福岡県立大学附属研究所2007年度事業報告書、2008年.

②その他最近の業績

(学会報告)

- ・ 榎直美、丸山康子「グループホームにおける認知症高齢者の転倒リスクの検討 - 認知症高齢者のBPSDとそのかかわりに着目して - 」第41回日本看護学会学術集会・地域看護、滋賀、2010年10月.
- ・ 丸山泰子、榎直美「デイケアにおける看護者の役割と専門性に関する研究 - 家族介護者のニーズ調査に基づく分析より - 」第41回日本看護学会学術集会・地域看護、滋賀、2010年10月.

- ・ 榎直美、安酸史子、小野美穂、清水夏子「地域住民参加・共同型看護ゼミによる保健行動変容への動機付けに関する検討」第40回日本看護学会学術集会・地域看護、長野。2009年11月。
- ・ 榎直美、石川フカエ「家族介護者への心身の健康支援に関する研究—デイケアを利用する家族介護者への効果的介入方法の検討—」。第18回日本健康教育学会学術集会、東京。2009年6月。
- ・ 石川フカエ、榎直美「中山間地域における高齢者の健康支援に関する研究」18回日本健康教育学会学術集会、東京。2009年6月。
- ・ 榎直美、丸山泰子「デイケア利用の高齢者とその家族への在宅支援に関する研究（第2報）—家族介護者のQOLを高める介入方法の検討—」、第13回日本在宅ケア学会、大阪。2009年3月。
- ・ 丸山泰子、榎直美「デイケア利用の高齢者とその家族への在宅支援に関する研究（第1報）—高齢者とその家族が抱える不安要因の分析—」、第13回日本在宅ケア学、大阪、2009年3月。
- ・ 榎直美「グループホームにおける認知症高齢者への転倒リスクマネジメント」、第7回日本ケアマネジメント学会、熊本、2008年7月。
- ・ 榎直美、尾中愛子「生活習慣の確立を促す健康教育の在り方を考える」、第17回日本健康教育学会、東京、2008年6月。
- ・ 榎直美、寺西洋子「訪問介護員の心身健康度に及ぼす要因に関する研究」、第12回日本在宅ケア学会、東京、2008年3月。
- ・ 寺西洋子、榎直美「高齢者ケアにおける室の向上を目指したマンパワーの養成」、第12回日本在宅ケア学会、東京、2008年3月。

5. 所属学会

日本看護科学学会、日本看護研究学会、日本在宅ケア学会、日本健康教育学会、日本老年看護学会、日本看護学教育学会、日本ケアマネジメント学会

6. 担当授業科目

老年看護論・2単位・2年・通年、老年看護論Ⅱ・1単位・3年・通年、成人・老年看護実習7単位（うち3単位）・3年・通年、看護専門ゼミ・2単位・4年・前期、総合実習・3単位・4年・前期、卒業研究・2単位・4年・後期、老年看護学特論・2単位・修士1年・

7. 社会貢献活動

- ・ NPO法人「ヘルスアイランドライツサポートうりずん」第三者評価委員
- ・ 「老いを支える北九州家族の会」介護アドバイザー
- ・ NPO法人「福祉・医療機関教育評価機構」理事・第三者評価委員
- ・ NPO法人「生涯現役支援センター」高齢者健康相談員
- ・ 筑豊市民大学「ヘルシーエイジングゼミ」に参画し年間を通して地域住民との協同的実践活動。

8. 学外講義・講演

- ・ 苅田町男女共同参画事業研修会講師、「介護保険の上手な活用法」、苅田町役場。2011年1月
- ・ 筑豊市民大学・ヘルシーエイジングゼミ講師「救命救急の方法と実践について」福岡県立大学。2010年10月。
- ・ 福岡県立大学オープンキャンパス模擬授業「心に寄り添う看護」福岡県立大学。2010年8月。
- ・ 教員免許更新講習講師「安全・安楽な食事の援助」福岡県立大学。2010年8月
- ・ NPO法人生涯現役支援センター講師「健やかに老いるとは」行橋。2010年8月。
- ・ NPO法人生涯現役支援センター講師「ストレスマネジメントと上手な付き合い方」行橋。2010年6月。
- ・ NPO法人生涯現役支援センター講師「介護保険の上手な活用法」行橋。2010年4月。

9. 附属研究所の活動等

ヘルスプロモーション実践研究センター兼任研究員